



夏休み前集会で表彰状伝達式

7月26日金曜日、6校時に体育館で賞状伝達式と夏休み前集会が行われました。賞状伝達式では、北海道中部地区夏季オープン弓道大会高校男子の部で優勝した3年墨谷樹君、同高校女子の部で優勝した2年工藤乃梨花さん、同3位の2年堀井千聡さん、高体連全道水泳大会女子100mバタフライで6位となった2年中山友里菜さんがステージに上がり賞状伝達を受けました。賞状を手にした4人は、全校生徒の方を向き、祝福の大きな拍手を受けました。その後、集会となり、校長から海や川での水難事故防止についての講話があり、教務部長から学習に臨む姿勢について、生徒指導部長から、自分の行動に一線を引き、自立することが大切であるとの話がありました。



弓道男子個人優勝の墨谷君



弓道女子個人優勝の工藤さん



弓道女子個人3位の堀井さん



全道水泳6位の中山さん



全校生徒の祝福を受ける



校長講話

栗山高校ホームページも御覧ください。(栗山高校で検索)

URL <http://www.kuriyama.hokkaido-c.ed.jp/>

栗山町による栗高支援3組織

栗山高校は、今年度90周年を迎えます。昭和39年度には、全日制課程普通科6間口、家政科1間口、定時制課程普通科及び農業科を擁する大規模校でした。しかし、空知の主要な産業であった石炭産業が衰退し、農業も農家戸数が減少するなどして、地域の人口減少が進み、少子化及び通学区域の改変による岩見沢市内校への生徒流出もあいまって、今年度新入生は1間口となりました、このような存続も危ぶまれる事態に対し、栗山町から様々な支援の手がさしのべられています。平成21年度に設立され、関係機関への陳情を主な役割とする栗山高校を支える会、そして、昨年度、新に設立された栗山高校にどのような支援をすれば生徒が集まるのか検討する栗山高校支援検討委員会及び学科転換を含めいかに高校を魅力あるものにするかを話し合う栗山高校魅力づくり委員会など支援組織を設けていただいております。支援検討委員会では、具体的な支援が決定され、検定や模試の受験料の半額補助、部活動の遠征に伴う旅費の補助、新たな情報システムの導入、少年ジェット（海外派遣事業）への栗高生枠の設定など、町民の皆様の貴重な税金を頂いての支援をいただいております。町民の皆様、栗山町に深く感謝申し上げます。

悲惨な水難事故を防ぐために 夏休み前集会での校長講話から

海では、押し寄せる波が、元に戻るために離岸流という、岸から沖合に向かう強い流れがあります。人間は、この流れに逆らって泳げません。離岸流を避けるには、遊泳禁止区域で泳がないこと。河口の近く、消波ブロックなどの人工物があるところを避け、波が高いときには泳がないことです。川には、動水圧があり危険です。浅くとも流れが強いと足をとられ転倒し、岩や流木に押しつけられると身動きができなくなり、顔が水につかってしまうと、死に至ります。また、ホワイトウォーターと呼ばれる泡だった流れですと、水と空気が混ざった状態なので、ボートでも沈むくらい浮力が弱くなっており、泳いで浮くことはできません。川ではライフジャケットが必携です。